

事業番号	10 02 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課
			実施期間	S33～	E-mail	ringvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	①労働生産性 ②県民一人当たり家計可処分所得 ③就業率					
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	○県内の森林・林業を支える教育・試験研究機関は少なく、充実を図る必要がある。 ○また、森林・林業を普及・啓発し、持続的な森林育成や発展を目指す必要がある。
	【目指す姿】
	森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのため、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。 ○林業大学校卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保（H28：89%） ○林業総合センターの試験・研究の促進（H30予算：31課題⇒H31予算：31課題）
	【実施内容】
	林業大学校や林業総合センターによる知識の教示や試験研究、普及指導員等による地域の林業事業者等の指導など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
1	林業大学校卒業生で就業した者の林業・木材産業関係分野への就業率	95.0%	78.0% ↘	70.0% ↘	80.0%		未達成	現計予算	87,905	91,325
2	林業総合センターの研究成果の発表件数	88件	124件 ↗	95件 ↘	80件		達成	合計(A)	87,905	91,325
3	体験学習の森の講座定員の充足率	86.4%	92.0% ↗	85.6% ↘	85.0%		達成	うち一般財源	64,143	67,332
4								決算額(B)	85,709	86,944
							職員数(人)	92.41	90.41	

成果指標設定理由	<ol style="list-style-type: none"> 1 林業大学校の学生が森林・林業の担い手として、その知識・技術を林業及び木材産業分野で活かせるよう成果指標に設定（過去3年間の卒業生の進路状況を勘案して目標を設定） 2 林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすため成果指標に設定 3 県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るため成果指標に設定
----------	---

達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1 4年制大学（林学）への編入者が多く、目標に達しなかったが、将来的には関係分野への就職が期待される。 2 学会をはじめ多様な場での研究発表や、刊行物への投稿を積極的に行ったため。 3 森林教室や森の勉強会等、一般の方に親しみやすい講座内容となっているため。
---------	---

主な取組	✓林業大学校における次代の担い手の育成 ・適正な学校運営 ・昭和54年に建築された学生寮が、平成28年に行われた耐震診断の結果倒壊の恐れがあると判明したことから、喫緊の課題として学生寮の改築に着手	 チェンソー実習	 オーストリアでの研修
	✓林業総合センターの試験研究・開発の促進 ・新たな試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カラマツの新製品開発 ・マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培の試験・開発 ・成長に優れたカラマツ等コンテナ苗木等の開発 等	 カラマツ材の利用技術の研究	 マツタケ人工栽培技術研究

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>林業大学校においては、多様化する森林・林業への要請に応えられる質の高い人材の育成を図るとともに、林業や木材産業を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。</p> <p>長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。</p>	<p>安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業など、これからの林業に必要な特徴的なカリキュラムを実施するとともに、学生が安心して勉学に励むことのできる環境を整備する。</p> <p>全国にみても先進的な試験研究・開発を継続し、木材の新製品やマツタケの人工栽培方法を開発する。</p>

事業番号 10 02 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	------------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	85,709 千円	86,944 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	林業大学校費	直接	林業の専門的知識・技術を身につけた、農山村地域にあって指導的な役割を果たす林業技術者の養成 【林業大学校卒業生20名（うち林業分野への就職者14名 70%）】
2	長野県林業大学校グレードアップ推進事業費	直接	次代の林業を推進する人材を育成できる大学の基本構想を策定し、大学の体制整備に係る支援業務を行うアドバイザーを設置 【検討会議を5回開催】
3	林業大学校教育環境整備事業	直接	男子寮棟を林業大学校敷地内に改築し、学生が安心して学業に励むことができる環境を整備 【プロポーザル審査委員会を2/3に開催し要領を策定、2/18に公告】
4	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を実施
5	林業総合センター管理費	直接	林業総合センターの管理運営業務を実施
6	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を実施【課題・研究数：28】
7	林業総合センター体験学習の森事業	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、幅広い層へ向けた講座を開催 【森林教室17回】 【森の勉強会3回】 【林業体験講座11回】